

目標達成計画

作成日: 令和5年 1月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	運営推進会議では「えがお」の事をより知っていただけるよう努めてきた。今後も限られた時間内で今まで以上にえがおの事を知ってもらい、サービス向上のために活かせる事があれば取り入れていきたい。	今後も運営推進会議の取り組み方について見直しをして改善を図っていく。地域の関係機関と関係づくりに努め、事業所での行事や取り組みについて報告、アドバイスや助言をもらい、取り入れた結果を次回の会議で発表する形を作る。 別法人の事業所に参加をしていただく事で、「えがおの良さ」を知っていただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回運営推進会議での提案や意見を職場に持ち帰り話し合いをしてから実施、結果どうだったかを次回の会議で発表できる形を作る ・えがおに意見箱を設置。(1か月以内に予定)入居者家族様の声を今後の運営に反映していく ・目標達成計画を議題に挙げ、達成度を運営推進会議内で報告をしていく 	12か月
2	35 (13)	昨今災害がいつどこで起こってもおかしくない。夜勤帯のような人材がいない時間帯の災害対策の強化を期待したい。又、地域の消防団や自衛団の協力を得る事や運営推進会議等を活用した、より良い関係性の構築からつなげていきたい。	地域で暮らしていく上で、災害時に安心・安全に対応できるよう、普段から地域住民の方々や関係機関との関係を作っていく。指定のある避難先事業所との関係作りを強化する。職員が災害についての一定の知識・技能を習得する。災害がおこった時に不安にならないような備蓄や訓練を進めていく	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の防災訓練関係に事業所として参加を継続していく ・防災以外の面からも事業所として地域とつながり、災害時に協力しやすい関係づくりを進める(地域防災イベント参加や大掃除など) ・えがお独自の備蓄物の準備と管理 ・年2回の避難訓練の継続と振り返り 	12か月
3	29	例年行っていた地域での行事や活動はコロナ禍で制限しており、地域との繋がりが薄くなったと感じている。 以前のような生活スタイルに戻った際には地域と繋がり、今まで以上に地域に根付いた活動をしていけるよう計画を立てて実行していきたい。	えがおは今年度開所して10年目を迎える。この1年を通して情勢を見ながら感染対策を行いつつ、例年以上に入居者や地域の方々が笑顔になれる企画を職員全員で提案をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや新聞の情報共有。感染対策の学習会や研修の参加 ・感染状況を確認しながら保育園などの地域と交流を行っていく ・地域の祭りに参加、出店も検討していく ・地域の集まりや集会へ参加する事で、新しい繋がりも作っていく 	12か月
職員 ㊦					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。